

公開セミナー等の記録 (2014-2019年)

1 応用生態工学会 第18回 東京大会 自由集会「ダムによる水生生物個体群の分断と陸封」

- ・日時：2014年（平成26年）9月18日 16:00～18:00
- ・場所：首都大学東京 12号館（理工教室棟） 201教室（東京都八王子市）
- ・企画者：大森浩二（愛媛大学）・井上幹生（愛媛大学）・一柳英隆（水源地環境センター）
- ・内容
 - ・趣旨説明 一柳英隆（水源地環境センター）
 - ・発表「様々な魚類の分布解析で検出されるダムの影響」井上幹生・川西亮太・菊地修吾・角崎嘉史・田頭亮臣（愛媛大学）
 - ・発表「ダムが引き起こした生活史と遺伝構造の急速な変化：残留イワナから回遊アメマスへ」小泉逸郎（北海道大学）
 - ・発表「ダム湖湛水域によって本川との連続性を分断された支川の底生動物群集構造」片野泉（兵庫県立大学）
 - ・発表「ダムによる流域個体群の分断化に関するモデル解析」大森浩二（愛媛大学）
 - ・議論 進行：一柳英隆（水源地環境センター）

2 応用生態工学会 第18回 東京大会 自由集会「ダム湖における外来魚対策」

- ・日時：2014年（平成26年）9月19日 16:00～18:30
- ・場所：首都大学東京 12号館（理工教室棟） 201教室（東京都八王子市）
- ・企画者：浅見和弘（応用地質株式会社）・大杉奉功（水源地環境センター）・中井克樹（滋賀県立琵琶湖博物館）・谷田一三（大阪府立大学名誉教授）
- ・内容
 - ・趣旨説明 浅見和弘（応用地質株式会社）
 - ・イントロダクション「ダム湖における外来種対策：概説」大杉奉功（水源地環境センター）
 - ・発表「階段式水位低下によるオオクチバスの産卵床干あげ」松崎厚史（三春ダム管理事務所）
 - ・発表「リフレッシュ放流に伴う貯水池水位変動を活用したブルーギルの繁殖抑制」沖津二郎（応用地質株式会社）・松崎厚史（三春ダム管理事務所）
 - ・発表「繁殖コロニーを形成するブルーギルの生態特性を利用した防除手法」大杉奉功（水源地環境センター）
 - ・発表「常時満水位管理のダム湖における繁殖ポテンシャル評価によるオオクチバス防除の効率化」笹田直樹・芹澤英一郎（ウエスコ）・上橋昇（苫田ダム管理所）・中井克樹（琵琶湖博物館）
 - ・議論 進行：浅見和弘（応用地質株式会社）
 - ・総括 中井克樹（琵琶湖博物館）

3 応用生態工学会 第19回 郡山大会 自由集会「応用生態工学からダム管理を考える」

- ・日時：2015年（平成27年）9月11日 15:30～18:00
- ・場所：日本大学工学部キャンパス 70号館 7011教室
- ・企画者：谷田一三（大阪市立自然史博物館）・一柳英隆（水源地環境センター）
- ・内容
 - ・趣旨説明 一柳英隆（水源地環境センター）
 - ・イントロダクション「ダム湖における外来種対策：概説」大杉奉功（水源地環境センター）
 - ・発表「水位操作とエコトーンに発達する植生の生態的機能・外来種管理の限界」浅見和弘（応用地質株式会社）
 - ・発表「水位操作と外来魚管理」大杉奉功（水源地環境センター）
 - ・発表「ダム湖エコトーンの生物多様性と地形・水位管理」関島恒夫（新潟大学）
 - ・発表「フラッシュ放流が河川・河畔域に与える影響評価」根岸淳二郎（北海道大学）
 - ・発表「フラッシュ放流への期待と制約」天野邦彦（水源地環境センター）
 - ・議論 進行：谷田一三（大阪市立自然史博物館）

4 応用生態工学会 第20回 東京大会 自由集会「ダム下流河川の生物群集の特性とその要因」

- ・日時：2016年（平成28年）9月2日 9:00～11:00
- ・場所：東京大学農学部一号館 第8講義室
- ・企画者：谷田一三（大阪市立自然史博物館）・一柳英隆（水源地環境センター）
- ・内容
 - ・趣旨説明 一柳英隆（水源地環境センター）
 - ・発表「ダムによって注目される一次生産の脇役たち：矢作川の事例から」内田朝子（矢作川研究所）
 - ・コメント 森 照貴（東京大学）
 - ・発表「底生動物群集はダム下流でどう変化しどう緩和されるか？」片野 泉（奈良女子大学）・土居秀幸（兵庫県立大）・三橋弘宗（兵庫県立人と自然の博物館）・水守裕一・松岡真里奈・角 絢香（兵庫県立大）
 - ・コメント 一柳英隆（水源地環境センター）
 - ・発表「ダム上下流の魚類群集比較の解析事例」小野田幸生（共生センター）・加藤康充（建設環境）・森 照貴（東京大学）・末吉正尚（共生センター）
 - ・コメント 田代喬（名古屋大学）
 - ・議論導入 竹門康弘（京都大学防災研究所）
 - ・議論 進行：谷田一三（大阪市立自然史博物館）

5 ダム湖生態系に関するセミナー：ダム湖沿岸帯（エコトーン）の生態系とその管理

- ・日時：2016年（平成28年）11月22日 13:30～17:00

- ・場所：TKP 仙台 カンファレンスセンター
- ・主催：水源地生態研究会
- ・後援：国土交通省東北地方整備局三春ダム管理所、応用生態工学会、応用地質(株)応用生態工学研究所、(一財)水源地環境センター
- ・内容
 - ・開会挨拶
 - ・基調講演「ダム湖沿岸帯（エコトーン）の生態特性と管理」谷田一三（大阪市立自然史博物館）
 - ・研究報告「湖岸のヤナギ、棲みやすいのか、棲みにくいのか？」浅枝隆（埼玉大学）
 - ・研究報告「ダム湖における外来魚駆除」中井克樹（滋賀県立琵琶湖博物館）
 - ・研究報告「ダム湖における溶存態・粒状態有機物の動態」吉村千洋（東京工業大学）
 - ・研究報告「微量元素から追跡するダム湖生態系物質動態」東信行（弘前大学）
 - ・研究報告「ダム湖水位変動帯に作られた各地のビオトープ」大杉奉功（水源地環境センター）
 - ・研究報告「ダム湖の生物生息状況を環境 DNA で知る」松橋彩衣子（琉球大学）
 - ・議論 進行：浅枝隆（埼玉大学）
 - ・閉会挨拶

6 ダム下流の土砂・河床地形管理に関するセミナー

- ・日時：2017年（平成29年）1月26日 14:30～17:30
- ・場所：TKP 新大阪 カンファレンスセンター
- ・主催：水源地生態研究会
- ・後援：応用生態工学会、(一財)水源地環境センター、
- ・内容
 - ・開会挨拶
 - ・趣旨説明 角哲也（京都大学）
 - ・研究報告「ダム下流における土砂供給の評価手法—アユの摂食の視点から—」萱場祐一（共生センター）
 - ・研究報告「ダム下流における土砂還元とその生態影響」田代喬（名古屋大学）
 - ・研究報告「土砂移動量—河床地形—生態機能関係のモデル化」竹門康弘（京都大学）
 - ・研究報告「木津川における土砂および河床地形管理」角哲也（京都大学）
 - ・議論 進行：辻本哲郎（名古屋大学名誉教授）
 - ・閉会挨拶

7 日本緑化工学会・日本景観生態学会・応用生態工学会 3学会合同大会 ELR2017 名古屋 研究集会「河川・ダムに関するデータベースの活用と課題」

- ・日時：2017年（平成29年）9月22日 17:15～19:15
- ・場所：名古屋大学 ES ホール
- ・企画者：中村太士（北海道大学）・一柳英隆（水源地環境センター）

- ・内容

- ・趣旨説明 一柳英隆（水源地環境センター）
- ・発表「ダム湖生態系の広域評価におけるデータベースの現状と課題」鈴木透（酪農大）
- ・発表「河川水辺の国勢調査とダム諸量データベースを組み合わせた解析の可能性と限界」森照貴（共生センター）
- ・発表「ダム湖に集積した流木量データベースから推定した流木流出の時空間的变化」徐正一（韓国公州大学校）
- ・コメント：奥田晃久（国土交通省水管理・国土保全局）
- ・議論 進行：中村太士（北海道大学）

8 ダム周ダム周辺生態系に関するセミナー：水生生物個体群の分断影響と保全

- ・日時：2017年（平成29年）11月14日 13:30～17:40
- ・場所：愛媛大学 総合情報メディアセンター メディアホール
- ・主催：水源地生態研究会
- ・後援：国土交通省四国地方整備局、応用生態工学会、（一財）水源地環境センター、
- ・協力：応用生態工学会松山
- ・内容
 - ・開会挨拶
 - ・概論「水生生物個体群のダムによる移動分断と陸封（概論）」大森浩二（愛媛大学）
 - ・報告「魚類個体群の移動分断の実態：野外での分布調査から」井上幹生（愛媛大学）
 - ・報告「魚類個体群の移動分断の実態：DNA分析から」高木基裕（愛媛大学）
 - ・現場での取り組みの報告
 - ・早明浦ダム：選択取水設備の運用等について
 - ・石手川ダム：水質問題の 沿革と対策について
 - ・野村ダム：アオコ対策について
 - ・議論 進行：大森浩二（愛媛大学）
 - ・閉会挨拶

9 ダム下流の生態系保全に関するセミナー

- ・日時：2018年（平成30年）1月25日 13:30～17:45
- ・場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 名古屋新幹線口
- ・主催：水源地生態研究会
- ・共催：豊田市矢作川研究所
- ・後援：国土交通省中部地方整備局、応用生態工学会、（一財）水源地環境センター、
- ・協力：応用生態工学会名古屋
- ・内容
 - ・開会挨拶

- ・趣旨説明 辻本哲郎（名古屋大学名誉教授）
- ・現場での取り組みの報告 末松義康（国土交通省中部地方整備局 豊橋河川事務所）
- ・研究報告「ダム下流河川生態系に最適な土砂供給量の考え方」竹門康弘（京都大学）
- ・研究報告「土砂供給に伴う魚類の生息場変化の捉え方 ー特に、アユの餌資源に着目してー」萱場祐一（共生センター）
- ・研究報告「ダム連続河川（矢作川）における流下 POM の流程と季節による動態」谷田一三（大阪市立自然史博物館）・白金晶子・内田朝子（豊田市矢作川研究所）・平祥和（大阪市立自然史博物館）
- ・研究報告「矢作川におけるダム下流の生物群集の変化」内田朝子・白金晶子・山本敏哉（豊田市矢作川研究所）
- 「矢作川における礫投入と生物の応答」 山本敏哉・内田朝子・白金晶子（豊田市矢作川研究所）
- ・議論 進行：辻本哲郎（名古屋大学名誉教授）
- ・閉会挨拶

10 応用生態工学会 第22回 東京大会 自由集会「ダ河川・ダムに関するデータベースについての意見交換会」

- ・日時：2018年（平成30年）9月21日 9:00～11:00
- ・場所：東京工業大学岡山キャンパス W935 講義室
- ・企画者：中村太士（北海道大学）・一柳英隆（水源地環境センター）
- ・内容
 - ・趣旨説明 一柳英隆（水源地環境センター）
 - ・話題提供・問題提起「データベースを活用した研究を進める上で障壁となるもの」森照貴（共生センター）
 - ・話題提供・問題提起「河川・ダムのデータを使おうとして感じたこと」 一柳英隆（水源地環境センター）
 - ・意見交換 進行：中村太士（北海道大学）

【意見交換者】

- ・国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課：舟橋弥生
- ・国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究室：山本陽子
- ・一般財団法人水源地環境センター：大杉奉功
- ・公益財団法人リバーフロント研究所：都築隆禎
- ・会場参加者

11 応用生態工学会 第23回 東京大会 自由集会「河川・ダムに関するデータベースについての意見交換会」

- ・日時：2019年（令和1年）9月27日 15:00～17:00
- ・場所：広島大学 東広島キャンパス 生物圏科学研究科C棟 C314

- ・ 企画者：中村太士（北海道大学）・一柳英隆（水源地環境センター）
- ・ 内容
 - ・ 昨年度までの議論の総括：一柳英隆（水源地環境センター）
 - ・ 国土交通省における水情報国土の改変とデータベース整理：舟橋弥生（国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課）
 - ・ 話題提供：田和康太（土木研究所）「河川水辺の国勢調査の鳥類データを利用する」
 - ・ 意見交換 進行：中村太士（北海道大学）

【意見交換者】

- ・ 国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課：舟橋弥生
- ・ 国立研究開発法人 土木研究所 自然共生研究センター：森照貴
- ・ 国立研究開発法人 土木研究所 自然共生研究センター：末吉正尚
- ・ 一般財団法人水源地環境センター：大杉奉功
- ・ 公益財団法人リバーフロント研究所：都築 隆禎
- ・ 一般財団法人河川情報センター：清 新
- ・ 会場参加者

12 応用生態工学会 第23回 東京大会 自由集会「ダム湖・ダム河川の応用生態工学～水源地生態研究会この10年の研究から～」

- ・ 日時：2019年（令和1年）9月28日（土）14:00～17:30
- ・ 場所：広島大学 東広島キャンパス 生物圏科学研究科C棟 C206
- ・ 企画者：谷田一三（大阪府立大学名誉教授）、江崎保男（コウノトリの郷公園）、一柳英隆（水源地環境センター）

- ・ 内容
 - ・ 概要説明「水源地生態研究会の概要」谷田一三（大阪府立大学名誉教授）
 - ・ 成果報告「ダム湖沿岸帯の植生、魚類、管理で出来ること」浅見和弘（応用地質株式会社）
 - ・ 成果報告「ダム下流河川生態系に対する最適な土砂供給量の考え方」竹門康弘（京都大学防災研）
 - ・ 成果報告「DNA バーコーディングを用いた森林性鳥類の餌利用様式の評価」布野隆之（兵庫県立人と自然の博物館）
 - ・ 成果報告「流域生態系の環境改変と生物個体群分断化への影響解析」大森浩二（愛媛大学）
 - ・ 成果報告「ダム湖流入河川の魚類相変化」鬼倉徳雄（九州大学）
 - ・ 成果報告「環境DNAを用いた魚類モニタリングの実装に向けて」源利文（神戸大学）
 - ・ 議論

コーディネーター：江崎保男

パネリスト：谷田一三、辻本哲郎（名古屋大学名誉教授）、大森浩二（愛媛大学）、鬼倉徳雄（九州大学）、中村太士（北海道大学）